

除染・廃棄物技術協議会 第六期の活動について

2016年9月29日

除染・廃棄物技術協議会 事務局

1. 会員企業（第五期終了時点）

【幹事会員】

代表幹事	大成建設株式会社
幹事	株式会社アトックス
幹事	鹿島建設株式会社
幹事	東京パワーテクノロジー株式会社
幹事	DOWAエコシステム株式会社
幹事	日本ガイシ株式会社

【発起人】 東京電力ホールディングス株式会社

【一般会員】 67社（建設・土木・環境・放射線管理・輸送・廃棄物・製造・コンサルティングなど）

【事務局】 株式会社三菱総合研究所

3. 会員企業(続き)

【一般会員 (67社 2016年10月現在)】

旭化成アドバンス株式会社
アジア航測株式会社
株式会社安藤・間
いであ株式会社
株式会社宇徳
エコバンド環境工学リサーチ株式会社
エヌエス環境株式会社
応用地質株式会社
株式会社オオスミ
株式会社大林組
株式会社奥村組
株式会社上組
株式会社環境管理センター
キャンベラジャパン株式会社
クボタ環境サービス株式会社
株式会社熊谷組
株式会社クレハ環境
株式会社京葉興業
原燃輸送株式会社
株式会社鴻池組
株式会社神戸製鋼所
五洋建設株式会社
佐藤工業株式会社

山九株式会社
JFEエンジニアリング株式会社
JFE環境株式会社
株式会社シービーエス
清水建設株式会社
株式会社神鋼環境ソリューション
新日鉄住金エンジニアリング株式会社
太平洋セメント株式会社
大豊建設株式会社
株式会社竹中工務店
株式会社竹中土木
株式会社千代田テクノル
鉄建建設株式会社
東亜建設工業株式会社
東急建設株式会社
東洋建設株式会社
戸田建設株式会社
西松建設株式会社
日揮株式会社
日曹金属化学株式会社
株式会社日本環境調査研究所
日本国土開発株式会社
日本通運株式会社

日本マタイ株式会社
株式会社パスコ
日立GEニュークリア・エナジー株式会社
株式会社日立製作所
日立造船株式会社
株式会社日立物流
株式会社福田組
株式会社フジタ
富士通株式会社
富士電機株式会社
ポニー工業株式会社
株式会社堀場製作所
前田建設工業株式会社
三井住友建設株式会社
株式会社三菱化学テクニサーチ
三菱重工業株式会社
三菱電機プラントエンジニアリング株式会社
三菱マテリアル株式会社
株式会社RSC
りんかい日産建設株式会社
若築建設株式会社

2. 第五期の活動内容 (定例会)

第17回定例会 (2016年1月15日)

テーマ 福島環境再生事務所の今後の活動

講演「これからの福島環境再生事務所の活動について」 福島環境再生事務所 所長 土居 健太郎様
会員企業技術紹介

- (1) ポニー工業株式会社
- (2) 旭化成ジオテック株式会社
- (3) 日立造船株式会社

第18回定例会 (2016年4月27日)

テーマ 中間貯蔵の本格化に向けて

基調講演「JESCOの中間貯蔵事業の成果・展望等について」
中間貯蔵・環境安全事業株式会社 社長 谷津龍太郎様

会員企業技術紹介

- (1) 株式会社日本環境調査研究所

第19回定例会 (2016年6月29日)

テーマ 除染土壌等の最終処分に向けた減容・再生利用

講演「再生資材化された福島県内除去土壌の再生利用に係る基本的考え方(案)について
～中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会(第4回)資料を中心に～」
環境省 水・大気環境局 放射性廃棄物汚染対策担当参事官室
除染・中間貯蔵企画調整チーム 主査 永野 喜代彦様

講演 会員企業の減容・再生利用の事例

- ・新日鉄住金エンジニアリング株式会社「シャフト炉式ガス化溶融炉による災害廃棄物処理」
- ・太平洋セメント株式会社「乾式Cs除去技術の概要と、飯館村蕨平における仮設資材化実証調査委託業務について」
- ・鹿島建設株式会社「宮城県・石巻ブロック 災害廃棄物処理における津波堆積物の再生利用について」

第20回定例会 (2016年8月31日)

テーマ 特措法施行から5年を振り返って

基調講演「福島第一原子力発電所事故による放射能汚染対策の五年間を振り返って(仮題)」
環境省顧問 関 荘一郎様

平成27年度 除染・減容等技術実証事業成果の報告 (大林組、鹿島環境エンジニアリング、三菱マテリアル)

* 各回ともWG活動報告も実施

2. 第五期の活動内容 (第4回シンポジウム)

【日時】 2015年10月15日(木)10:50～15:20

【場所】 郡山カルチャーパーク内 カルチャーセンター「展示室」
(環境新聞 RADIEX2015フォーラム in Fukushimaと併催)

【開会ご挨拶】 10:50～11:00

除染・廃棄物技術協議会 押野嘉雄代表幹事(鹿島建設)

【講演】除染の進捗状況と今後の課題 11:00～12:20

講演①「除染の進捗状況について」

環境省 福島環境再生本部 副本部長 小沢晴司様

講演②「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う郡山市の原子力災害対応について」

郡山市 生活環境部 部長 吉田正美様

【昼食休憩】 12:20～13:20

【講演】復興に向けての取り組み 13:20～14:00

講演③「環境回復に向けた取り組み」

福島県 環境創造センター 副所長 佐藤弘美様

【協議会活動報告】 14:00～15:15

・ワーキンググループ活動報告

ロジスティクスマネージメントWG (45分)

廃棄物関連WG (30分)

● 環境創造センター(三春)見学会(会員限定) : 2015年10月15日(木)16:30-17:15

参加人数: 250名、うち協議会会員企業から93名。協議会会員企業以外の主たる参加機関は以下の通り。

【国など】環境省

【自治体など】福島県、福島市、伊達市、南相馬市、泉崎村、福井県、桐生市 【報道機関】NHK、読売新聞

2. 第五期の活動内容(ワーキンググループ活動)

- ロジスティクス・マネージメントWG (2014.4～継続中)
中間貯蔵施設への大量の土壌及び廃棄物の輸送に貢献する技術を検討する。「積込場」、「焼却灰等輸送」、「事故対応」に関する検討を、環境省(中間貯蔵施設チーム、福島環境再生事務所)、JESCOを交えて実施中である。
- 廃棄物関連WG (2015.4～2016.3)
中間貯蔵施設に搬入される焼却灰や、中間貯蔵施設で発生する焼却灰(除染廃棄物の焼却灰)を対象に、焼却灰減容処理の効果検証及び技術開発戦略の策定を行った。また、浜通り地域を中心に処理が滞っている廃棄物について、処理・リサイクルを促進し、福島県の復興につなげていくことを目的に、リサイクルセンターの設置・運営に係る検討を行った。前者が「減容・再生利用WG」の活動に、後者は福島県が主導する「環境・リサイクル関連産業研究会」に、検討結果を引き継いで活動を完了した。
- 減容・再生利用WG (2016.4～継続中)
中間貯蔵施設に貯蔵され、福島県外で最終処分する土壌等の量を極力減らすことを目的として、効率的な減容処理と、これに伴い発生する副産物を資材等として再生利用するための検討を行っている。

3. 第六期の活動内容案

(1) 定例会 … 継続

除染及び廃棄物の処理・処分に関する国や地方自治体の動向及び活動の紹介、成功事例の報告など、会員の活動に資する情報共有とこれらに関する議論

(2) 技術情報集の作成 … 継続

会員から収集した除染・廃棄物関連の技術情報を基に、除染・廃棄物技術を目的・分野ごとに整理した技術情報集を作成し、会員企業間で共有する。

(3) ワーキンググループ活動 … 継続(次ページ)

会員企業有志によるワーキンググループ(WG)を設置して、除染及び廃棄物処理処分に関する様々な課題を、実際に作業に携わる企業の視点から検討し、国や自治体が実施する除染事業の効果的・効率的な実施に資するための資料としてまとめ、公表する。

(4) 会員相互の情報交換の場の提供 … 継続

会員同士の技術的な情報交換や協力を促進するために、会員間の技術協力等の申し入れを、事務局にて仲介する。

(5) 第五回公開シンポジウム (2016年11月を予定)

協議会の成果を報告する場として、除染対象地域の自治体や地元企業なども対象とした公開シンポジウムを開催する。

(6) その他

関係機関との意見交換(WG活動の一環)、環境省等からの協力依頼への対応

3. 第六期のWG活動

ロジスティクスマネジメントWG、減容・再生利用WGの活動を第五期から継続する。

(1) ロジスティクス・マネジメントWG

次の仮置場から中間貯蔵施設への輸送に関する諸課題の検討を継続する。

SWG4（積込場SWG）：積込場の基本機能、施設能力・構造要件、役割分担等の検討

SWG5（焼却灰等輸送SWG）：10万Bq/kgを超える焼却灰等の輸送方法に関する検討

SWG6（事故対応SWG）：輸送事故時の現場復旧に関する検討

上記のSWGの活動の中で、環境省およびJESCOを交えた議論を行い、協議会として検討すべき輸送に関する課題があれば、必要に応じて新たにSWGを立ち上げて検討する。

3. 第六期のWG活動（続き）

(2) 減容・再生利用WG

1. 処理フローの検討（2016年9月まで）

環境省「第2回中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会」で示された「土壌＋焼却灰」の熱処理を含んだケースⅣのフローと焼却灰WGの「熱処理＋灰洗浄」のフローを合体したフローを検討する。

- 除去土壌、再生土壌、焼成物、濃縮物、最終処分物の物量および放射能濃度の精査
- 除去土壌の放射能濃度による分類（土壌A～D）加えて、土壌の性状に着目した処理フローの検討

（今後の活動項目）

2. 技術の組み合わせによるメリットの効果の検討
3. 再生土壌や焼成物の利用
4. 処理コスト試算
5. 濃縮物の安定化、保管に関する検討

4. その他の活動

(1) 外部の研究会等への協力

- ・ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会
- ・TIA 連携プログラム「かけはし」ワークショップ
- ・RADIEX
- ・環境放射能除染学会、等

(2) 今後の除染及び廃棄物処理に関する課題検討

帰還困難区域や里山などの残された除染対象への取り組み方、及び、これらの除染に伴い発生する廃棄物の処理、中間貯蔵施設の整備・運用・維持管理など、10年先までを見通した課題の抽出と、これに対処するための技術開発に関する検討を行い、国などに提言していく。

また、この検討を基に、今後の協議会の在り方を探る。

このための特別WGを運営委員会の下に設置して検討を行い、第六期の早い時期に検討結果を報告する。